

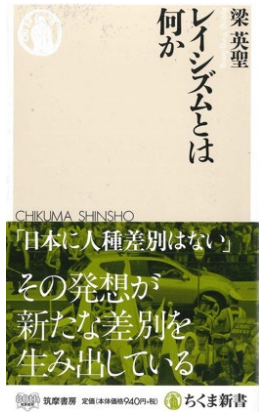
国際社会学部

梁英聖

RYANG Yong-Song

現代世界論コース

社会学



なぜレイシズムを研究しなければならないのか？

私の専門はレイシズム（racism）です。レイシズムとは何でしょうか？ ごく簡単にいえば、民族差別や人種差別（とそれを引き起こす原因）を指す概念だといえます。米国の例をあげればレイシズムには、「メキシコ系は犯罪者が多い」などといった人種の偏見から、じっさいに銃乱射事件などでメキシコ系を殺害するハイトクライムやジェノサイド（虐殺）まで、幅広い現象があります。

なぜレイシズムを研究する必要があるのでしょうか？ レイシズムは放置すると社会を根底から破壊する——これが全人類にとっての、苦すぎる歴史的教訓となったからです（2度までの世界大戦や、ホロコースト（ナチドイツによるユダヤ系への大虐殺）や、黒人奴隷制や植民地支配など）。また世界各地の戦争で用いられてきた戦時性暴力のように、レイシズムはセクシズム（性差別）など様々な差別と不可分に絡み合っています（インターセクショナリティ）。あらゆる差別を激化させ、「死んでいい人間」をつくりだす権力メカニズムを解明するために、レイシズム研究は絶対に必要なのです。

研究紹介

私の研究は社会を破壊するレイシズムが、日本社会でどのように作動しているのかを、主に在日コリアンへの差別現象を中心に、社会学的に分析しています。フランスの思想家ミシェル・フーコーの生権力と新自由主義的統治性という概念を用いて、21世紀日本社会で台頭しているレイシズム現象を分析してきました。最近の研究関心は入管。反レイシズムの立場から、米国のブラック・ライヴズ・マター運動が監獄廃止を提起したように、近年英語圏では外国人収容施設などの入管システムの廃止が理論的にも実践的にも提起されています。それら入管廃止論を日本のレイシズム分析に応用したいと考えています。



担当授業

- レイシズム・スタディーズ入門（現代世界コースの導入科目）
- レイシズム・スタディーズA/B（現代世界コースの専修科目）
- レイシズムと生権力
- レイスとネイション
- 基礎演習

関連する分野

- 経済学、法学、政治学、社会思想
- フェミニズム、ポストコロナル・スタディーズ
- 日本とアジアの近現代史

出版物

単著

- 『レイシズムとは何か』（筑摩書房）
- 『日本型ヘイトスピーチとは何か』（影書房）

共著

- 『レイシズムを考える』（共和国）
- 『憎悪とフェイク』（大月書店）

監修

- 『止めたい！人種差別——「ガイジン」って呼ばないで！』（汐文社）

国際社会学部

レイシズム・スタディーズ ゼミ

どのようなゼミか

このゼミは、レイシズム（人種差別／人種主義）を学問的に批判するゼミです。

しかしこのゼミの目的は、単に「差別はよくない」という優等生的な態度をとったり、被害者やマイノリティといった「他者」への共感や想像力を養うところにあるではありません。

ここでいう「批判」とは、実際に起きているレイシズム現象が、なぜ、どのようにして、資本主義社会のなかで引き起こされているのかを解き明かすメカニズム分析（と差別の思考形態の解明）のことで、またレイシズムがジェンダーや階級のあり方とどのように絡み合っているのかも分析していきます。

このゼミはレイシズムと資本主義社会の関係を批判的に分析した古典や重要文献を精読していきます。それらには英語文献が含まれるので一定の語学力が必要です。

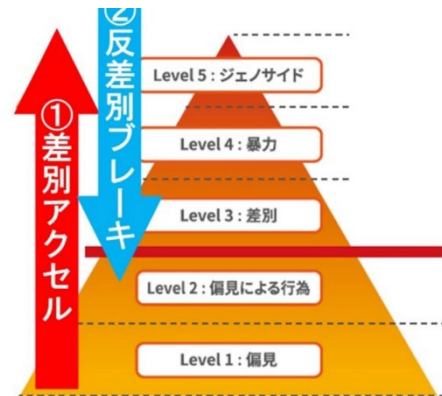
【2023年度のテーマ：ボーダーのレイシズム／セクシズムとアポリッシュニズム】

2023年度は、現代世界で最も深刻なレイシズム現象の一つであるボーダー問題（つまり国境／国籍／市民権、パスポートコントロール、入管体制、移民収容施設、ハイテク監視網など）と、そのボーダーのシステムを廃止しようとするアポリッシュニズムをテーマにする予定です。なおレイシズム批判はジェンダー／セクシュアリティ批判と切り離すことができませんから関連文献も読みます。

〔※以下、学生によるゼミ紹介文。〕

（現代世界論コース 梁英聖ゼミ）

「大学は、社会とは別の時間が流れている。それは、真理を探究する時間だ」——梁英聖先生がおっしゃったこの言葉は、梁ゼミを表す言葉としてもぴったりだと思います。ゼミでは、レイシズムと資本主義の関係を批判的に分析する思考力を身につけるため、古典を精読して社会理論を学びます。2022年度秋学期にはフォーコーの『監獄の誕生』を読み、理解できるまで徹底的に教わりました。レジュメ作成や発表を積み重ねていく日々は、決して楽ではありません。しかし、普遍性を持つ理論を学ぶことは、社会の別のありかたを構想する上で必ず役立ちますし、どんな疑問にも真剣に向き合い丁寧に答えてくださる梁先生のもとでの学びは、とても楽しく、研究室には密度の濃い時間が流れています。知識や理論を、行動や実践に結びつけている梁先生の言葉は、鋭く、強く、優しいです。梁ゼミで、共に真理を探究し、「自分」という生の在り方を見つめ、創造してみませんか。（鳥倉捺央）



卒論

- ※2022年4月から開講された新しいゼミのため、まだ卒論を書いた方はおられません。これまでのゼミの学生が書こうとしている卒論テーマは以下の通りです。
- （黒人差別に対する）プロテストとしてのジャズ
- コロナウイルスがアメリカにおけるアジア系に対する人種差別に与えた影響の考察
- 戸籍におけるレイシズム（民族差別）とセクシズム（性差別）

おススメの本

- アンジェラ・デイヴィス『アンジェラ・デイヴィスの教え——自由とはたゆみなき闘い』
- イbrahim・X・ケンディ『アンチレイシストであるためには』
- アリシア・ガーザ『世界を動かす変革の力——ブラック・ライヴズ・マター共同代表からのメッセージ』
- 梁英聖『レイシズムとは何か』